

マネージメントゲームとは

マネージメントゲーム（MG）とは、思想と科学と作者の企業体験をもりこむことで、企業の大枠、利益の構造、活きた経営学・会計学を身に付けることが出来るようになるシミュレーションゲームです。

参加者1人1人が会社の社長になって5期分の会社経営のシミュレーションをします。勝敗には自己資本の額を用いるので、各自で決算もします。シミュレーションした経営が、実際に儲かったのか儲からなかったのか、自分自身で計算することになります。自己資本が上がるか下がるかは参加者の意思決定次第です。

株式会社 西研究所HPより転載

ビジネスゲームの一つ。昭和51年に西順一郎がソニーCDIで開発。経営教育の手法。チームで行なうのではなく、「一人経営」型をとる。そのため、負荷は大きいですが、効果も抜群である。

ハードとしては、「モノポリー」「人生ゲーム」「プレイボス」等をベースにした企業ミニチュアを使う。「情報システム」として企業会計原則・原価計算基準を本格採用したアカデミックな会計システムを備えているのが特徴。



さらに、ゲームに思想と科学と作者の企業体験をもりこむことで、受講者は、企業の大枠、利益の構造、活きた経営学、活きた会計学を身につけることができる。知識教育でなく、能力の涵養を主眼とするため、「理入」（知識教育）でなく、「行入」（体験学習）を基本とする。

マネージメントゲームの効果

思想・科学・作者の企業体験を盛り込んだ企業ミニチュアを使うことにより、企業の大枠、利益構造、活きた経営・会計学を身に付け、一人ひとりの個人を（つ）よくする事、企業を（つ）よくする事を目標としています。

原価の考え方や経営者と同じ感覚で意思決定が出来るようになります。

繰り返し行うことで変化に柔軟に対応出来るようになり、リスクへの対応力が身に付きます。

参加連絡票

四万十町商工会 行

(FAX 0880-22-0462)

10月8日(土)、9日(日)のマネージメントゲームセミナーに参加します。

交流会も参加する場合は、チェックして下さい。

所属商工会：

氏 名：

連絡先（携帯電話）：